

未来への責任ある市政経営、防災減災対策等



公明党 木島 たかし

1・今後の市政経営について

木島) 市財政の現状を踏まえ、**将来への責任を持った市政経営の推進**を。

答) 今後、庁舎建設、仮称リサイクルセンター建設、保育待機児童解消、高齢化社会への対応等、多額の財源が必要。健全な運営を進める。

木島) 今後の**公共施設等マネジメントで将来の財政負担軽減**のため包括管理委託の取り組みを

答) 民間事業者と連携した取り組みを検討する

木島) **公会計改革**による業務別・施設別の財務書類を策定し、財政をわかりやすく示す努力を。

答) 全庁的に連携して検討を進めたい。

2・防災・減災対策について

木島) 豪雨時での野川周辺住民への避難行動の**基準や情報**が十分に伝わっていないのでは？

答) 市民への周知はまだ十分ではないと認識。

木島) 野川の現在の雨量・水位が分かる**東京都建設局のサイト**(国分寺市域は一里塚橋が観測ポイント)の周知を図るべき。

答) 市HPやハザードマップへの記載等、進める。

木島) 国分寺駅北口の交通広場(歩行者スペース)が完成した際、帰宅困難者対策等の観点からも災害時の位置付けを明確にするべき。

答) 待避場所の指定へ向けて検討する。

木島) 災害時の避難所生活で**エコノミークラス**症候群予防や健康の為に段ボールベッドが有効

民間企業との協定を結ぶべきではないか？

答) 重要と認識。速やかに取り組む。

3・西国分寺駅周辺の課題について

木島) 東側周辺まちづくりの**アンケート**を今後活かすために、市財政の課題と市全体の公共施設等マネジメントとの関係の整理が必要だ。

答) 関係部署と連携し適正に進めていきたい。

木島) 南口の**武蔵野線ガード下付近の狭い歩道**等の安全対策を講じるべき。

答) 現場の状況をさらに確認し検討したい。

4・交通安全対策について

木島) 国分寺街道の**緑色カラー舗装**の状況は？

答) 一部で塗装が必要。速やかに対応する。

防災も若者支援も地域での繋がりが大切

国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか



◆緊急時の子育て支援策について

秋本) 急な子どもや保護者の病気、緊急を要する用事など、当日の朝に子どもを預けることができる支援策はあるか。答) 所定の手続きや子どもの状態確認等、事前の登録や申し込みが原則。空きがあれば当日対応が可能な場合もある。ファミリー・サポート・センター事業では援助会員の都合が合えば可能。秋本) ファミリー・サポート事業では、利用会員一人に対して援助会員を5人程つけることで、急な依頼にも応じている自治体もある。市でも当初から複数の援助会員とのマッチングを進め、緊急時の支援体制を強化できないか。答) 他市の利用状況を調査し事例を研究したい。

◆地区防災センターを中心にした防災訓練のあり方

秋本) 総合防災訓練の一環として行われた、地区防災センターへの避難訓練には、防災まちづくり推進地区をはじめ、地域の方が集う。この機会に、児童、生徒も参加し、地域の顔の見える関係づくりを。そのために学校との連携を求め、答) 地域の繋がりは大切、工夫検討する。学校との連携を研究する。秋本) センターである学校は重要な地域拠点だ。学校で行われる集いやまつりなどでも、防災の切り口で体験機会をつくり、地域の繋がりを深められるよう、教育との連携で取組み事例の提供や共有を。答) 防災の取組みには進んで協力したい。

◆若者支援について

秋本) 平成29年度に若者支援ネットワーク会議が立ち上がった。講演会に参加した支援者が地域で繋がる支援体制づくりが必要だ。家族支援の充実と、課題解決に向けて地域の支援団体との連携を。答) 地域の方と話し合い地域支援モデルを作りたい。家族相談会も実施する。地域団体と相談し会議への参加も検討したい。秋本) 若者支援事業として、相談拠点整備と居場所づくりも課題である。居場所での交流から信頼関係を築き、相談に繋がる事例も多い。答) まずは相談に繋げることを意識している。整備の必要性は認識。相談実績等を検証し検討する。

深刻なプラスチックごみ使い捨てSTOP！

国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ



●窓口対応大事・ハラスメントの無い職場環境

皆) 窓口で机に足を乗せ居眠りの事例あり驚き。接遇等研修受けていないのでは？接遇マニュアルにある自己採点を実施せよ。窓口、接遇対応毎日確認出来るよう簡便な行動指針の作成を！答) マニュアル作成時より15年以上経過し見直す。自己採点実施、行動指針の作成も検討する。皆) ハラスメント処理委員会で取り扱っている事案はあるか？件数、内容など公表できるか？答) 指針に基づき処理委員会が開催された。回数等差し控えたい。※接遇、窓口対応マニュアル、ハラスメント指針のHPへの公表を今回も求めたものの、消極的な答弁に終わっています。

●介護保険制度の施設、「介護老人保健施設」

皆) 市内2施設中、市が設立した(一財)国分寺市健康福祉サービス協会(以下サービス協会)は50床の老健である。稼働率や目標値は？答) 目標値は93%で現状85%で改善の余地ある。皆) サービス協会「あり方検討委員会」とは？目的課題は？メリット、デメリット等多角的な側面からも検討し、指定管理者制度の再構築を。答) 稼働率の低さは課題。目的として今後の運営の在り方等、今年度中に一定の結論を出す。委員会は識見6名、市の職員2名の8名以内で構成。適宜、所管委員会に報告していきたい。●H31～10年間の「国分寺市一般廃棄物処理基

本計画」ではプラスチック削減の視点も重要。

皆) 3年から単年度に実施計画変更。市民にはいつ公表するか？答) 毎年4月1日に告示。数値確定は6月だが遅くとも決算時と考えている。皆) プラスチックは軽量で丈夫、便利な反面環境汚染も深刻。過去にも提案したプラ削減の一つ使い捨てレジ袋NO。マイバッグ運動キャンペーンを。答) 再度、啓発運動等実施していく。●歩道を塞ぐバス停、連雀通り「北の原住宅」皆) 石置型で正四角錐台の形態。バス停車時で雨天時等乗降客や歩行者も歩道に余裕なく危険。改善すべき。答) 都道だが安全性の観点からバス会社、東京都に危険な箇所の改善を要望する。

新たな1000万円の財源 子育て支援充実を

無会派(日本共産党国分寺市議団) 中山 こう



《子育て支援から国民健康保険税の軽減を》

夫婦ともに45歳の家庭をモデル世帯として、所得階層と子どもの人数ごとの年間国保税額と(円)所得に対する負担割合(()内は%)
所得 子1 子2 子3
0 約4.4万 約5.6万 約6.8万
100万 約12万(12) 約14万(14) 約16万(16)
200万 約26万(13) 約26万(13) 約30万(15)
300万 約33万(11) 約37万(12) 約41万(14)
国保の場合、低所得で子どもが多いほど保険料負担が重い。他の医療保険では、負担は5～8%で、子どもが増えても保険料は変化しない。国保の子どもに関わる部分で、今年から市には

新たに約1000万円の財源が生まれている。

問) この財源を活用して、市として子どもを扶養している国保世帯の負担軽減を求め。

答) 制度上の課題として国が責任を持って対応すると考える。

*国は実施の方針を持っていない。子育て支援は待ったなし。市として独自軽減を求め。

《健康で文化的な生活を保障する生活保護を》

問) 基準以下で生活されている方にとって、生活保護を受給することは権利と認識するか。

答) 生活保護の受給は権利だと認識している。

*憲法25条「すべて国民は、健康で文化的な『最低限度の生活』を営む権利を有する」の

理念に基づいている。今、「最低限度の生活」水準が問題になっている。

問) 国は見直しで、生活保護基準以下で生活している方も含む最も低い所得階層と比較して生活保護費を減額した。これで「最低限度の生活」を保障すると言えるのか。

答) 市としても国と同じ立場。

*生活保護世帯に接する市として「最低限度の生活」を保障する立場にたつことを求める。

モデル世帯(例) 年の減額
40代夫婦中学生2人 -205,200円
40代夫婦小学生・中学生 -182,880円
40代一人親中学生2人 -192,600円